

すこやか VOL.73

医療法人 藤田病院

岡山市東区西大寺上三丁目8-63

TEL (086) 943-6555 (代)

令和2年1月発行



福島県磐梯山

「どうにもならない」と

藤田病院 院長 渡邊 剛正



明けましておめでとうございます。令和最初のお正月です。新時代、新たな年を皆さんはどんな思いで迎えたでしょうか？

昨秋、医師会の主催で、ある僧侶の講演を拝聴する機会がありました。「スピリチュアル・ケア」に関する

話でいろいろと考えさせられる内容でした。人生の最終段階で医療はどうあるべきかというテーマは古くて新しい問題です。「ACP」アドバンス・ケア・プランニングは医療界のキーワードで「人生会議」と訳され話題になりました。年始から「縁起でもない」とお叱りをいただきそうですが、必ずやってくる「その日」をどのように自分らしく迎えるのかについて家族と共に話し合おうではないか、ということでした。

医学をはじめとする科学は、未解決の問題を次々と解決し「どうにかなる」ことを増やしてきました。医学の進歩は医療の選択肢を増加させ、ひとまらず人類に幸福をもたらしました（ことになっていきます）。かつては不治と言われた病気も1つ1つ治療法が発見・開発され、日本人の平均寿命は統計を取るたびに伸延しています。戦後の統計では昭和22年において男性50歳、女性54歳だったのが、昭和45年には男性69歳、女性74歳。平成30年は男性81・2歳、女性87・3歳と終戦直後と比較して30年以上も人生は伸びたのです。

しかしどんなに時代が進んでも「どうにもならない」ことは確かに存在し「どうにもならない」ことの前に相変わらず医学は無力なままです。「どうにもならない」ことは医学の対象ではない。それは哲学や宗教の役割である、と言って逃げてしまうのも1つの方法ですが、日々生死に誠実に向かい合えば向かい合うほど逃げるわけにはいきません。

「どうにもならないことをどうするのか」これからの医療に求められた重要な命題です。それは「不老不死を求めろ」ことではありません。しかも、これらは医療や医療人にだけ押し付けていても解決しません。1人1人が当事者として考えなくてはならないことなのです。私自身、医の世界に足を踏み入れて30年近くが経過しました。対処法のヒントはいくつか手に入れましたが、まだまだ修行は続きます。実は「どうにもならない」ことのほうが多かった時代に学ぶことが多いのではないかと最近考えています。今年も皆様にお会いできるのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願致します。

電子カルテを 導入しました



藤田病院では、令和元年9月17日より電子カルテシステムの運用を開始しました。

電子カルテとは、従来は紙に記載・保存していた「カルテ」（診療記録）を電子化し、コンピューターによって集中管理するものです。電子化することにより、病院内のどこにいても、すぐにカルテや検査結果が閲覧可能になり、今まで以上に職員間での診療情報の共有が進みます。

蓄積されたデータを比較したりグラフ化することが容易になり、より綿密で分かりやすい医療を提供することも可能になります。さらに、手書きによる転記ミスや手書きカルテの誤読、バーコードを利用して確認することによる患者さま取り違いなどの防止になり、安全性も向上します。また、職員確保の面でも採用力の向上を期待しております。

一方で、電子カルテは魔法の杖ではありません。紙のように融通が利かないなどデメリットもございます。開院以来40年にわたって利用してきた紙カルテのように使いこなすには、時間と努力が必要

と考えております。職員一同努力しておりますが、電子カルテ導入による院内の運用変更や、操作に慣れていないなどの理由で患者さまにご迷惑が掛かる場合がございます。その際は、なにとぞご容赦くださいませ。

これからも藤田病院は医療を取り巻く環境の変化に敏感に、フットワーク軽く地域医療に貢献してまいります。



専門外来オープン

■ 糖尿病

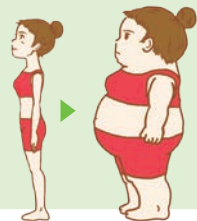
日時 毎週水曜 / 午前: 9~12時

担当医 木村佐和 医師

糖尿病の慢性合併症は、数年から数十年の経過でゆっくりと生じます。進行するまで症状が出ないこともあり、気づかないうちに合併症が進行していることもあります。どのような合併症があるのかを知り、症状のないうちから、主治医と相談しながら合併症に関する検査や検診を定期的に受けることが大切です。

こんな方は受診を

検診で糖尿病予備軍といわれた方、体重が20歳の頃より10キロ以上増えた方、高血圧や脂質異常症といわれた方、運動不足(運動習慣がない)の方、血縁者に糖尿病の方がいる方



■ 乳腺・甲状腺・呼吸器

日時 毎週金曜 / 午後: 2~5時

担当医 松岡順治 医師

乳がん、肺がんともに罹患者数が多いがんです。2014年の国立がん研究センターのデータで臓器別の罹患者数を見ても、肺がんは男性で第2位、女性で第4位です。乳がんは女性で第1位でした。どちらも早期発見が治療のポイントです。

下記のような症状があれば受診をお勧めします。

こんな方は受診を

- 乳腺……乳房にしこりや張り、痛みがある
- 甲状腺……甲状腺に腫れがある、多汗、動悸、無気力、急な体重の増減
- 呼吸器……咳が3週間以上続く、たんに血が混じる、夜間や早朝に息苦しくなる、坂道で息切れする

